

第 24-5 回 心理学・教育学委員会 心の先端研究と心理学専門教育分科会 議事録

日時： 2020 年 7 月 26 日 14:00～16:00

場所： オンライン(Zoom)開催

出席者： 西田眞也、蒲池みゆき、明和政子、入來篤史、内田伸子、大平英樹、岡ノ谷一夫、亀田達也、唐沢かおり、川畑秀明、楠見孝、坂上雅道、坂田省吾、實藤和佳子、積山薫、高瀬堅吉、長谷川寿一、原田悦子、松井三枝、村上郁也、山口真美、四本裕子、渡辺茂 (24 名)

<議事概要>

1. 前回議事録の確認 (メール審議済)

前回議事録の確認をメール審議にて行い、了承されたことを確認した。

2. 新型コロナウイルス感染症パンデミックと心の先端研究

新型コロナウイルス感染症拡大防止による大学や研究機関の入構禁止措置などにより、心理学、特に人と密に接すること基本とした実験系研究を進める上で大きな障壁がある。各委員から、この状況下でどのように研究を進めているか、また、今後実験環境はどのような流れになるかについて意見交換を行った。オンラインで実験を行う時のノウハウをシェアすること、相互にリソースを共有するための提案など、さまざまな意見が出た。

3. 心の先端研究のための連携拠点について

西田委員長より、本分科会がこれまで担ってきた役割についての経緯を今一度整理し、分科会のまとめを行った。今後、心理学が文系心理学を超えた次の実践として行うべきこととして、次世代を担う心理学者の育成、大型研究を行う意義、他分野との連携の重要性が挙げられた。次期学術会議においては、本分科会での審議内容をさらに発展させ、これら心の先端研究の推進をするべく、より少人数での WG 検討など具体的な審議にとりかかる必要があることなどが確認された。

以上